



企業・団体様向け資料

わよう 和様の書展の審査員を探しています。

読んで楽しむ書道「^{わよう}和様」へ。

「書道展 読めた漢字は「順路」だけ」という川柳があります。
今の書道は、漢文だったり、字が繋がったり、崩れたりして、私達はほとんど読めません。¹
もし書作品を誰もが読めたら、書道の楽しみがより広がりませんか？



現代版 和様は、続け字、崩し字を使わない。

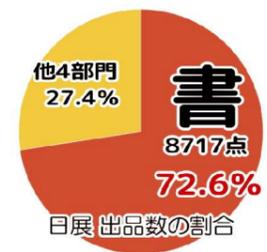
和様とは、日本式の書道で、江戸時代には公式書体として使われていました。²
当時の和様は続け字(筆記体)でしたが、今の日本語は活字体で書かれています。
現代版 和様は、「誰でも読める」ように「続け字、崩し字をしない」がルールです。



生徒作例

もったいない！

書道は、日本芸術の最高峰 日展で出品数の70%以上と圧倒的なシェア。
ただ、これほど多くの方が親んでいる書道に、読める日本語の書作品がないのです。
日本の書道なのに、日本人が読める書作品がないのは、なんともったいない！



現代版 和様を「和様の書展」で育てる。

今の書道は、戦後、日展、毎日展、読売展などの公募書展を通じ発展しました。
当団体は、企業やメディアへの和様の書の提供と併せて、毎年、書展を開催しています。
そこで、この書展を和様普及のため『公募書展』にし、誰でも応募可能にします。



読めるだけではなく「飾れる書作品」。

今の美術館で開催される公募書展の作品サイズは1m以上と巨大です。³
和様の書展では、家庭で飾れるサイズの書作品を募集します。
過去には、和様の書を活用した衣類、バッグ、のれん、陶器などの出品もありました。



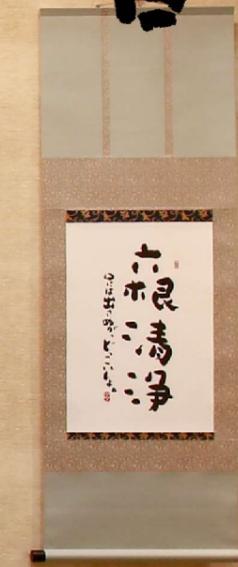
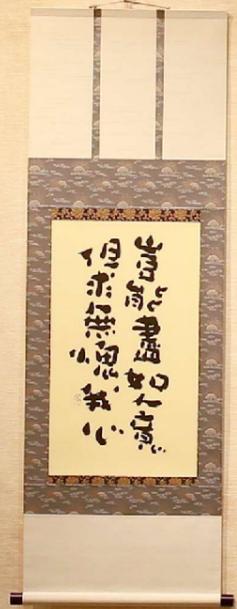
市場ニーズ反映のため審査員になってください。

和様発展のために、企業団体の皆様⁴、和様の書展の審査にご協力ください。
和様の書展では、芸術審査で一般的な合議制はとらず、単独で賞を決めていただきます。
受賞作品には副賞(自社製品など)をお願いします(題字オファーも大歓迎！)。



¹ 現在の書道は中華式の唐様(からよう) 菱湖(りょうこ)流が元。明治政府が公式書体にして広がった。 ² 江戸時代の公式書体 和様 御家(おいえ)流は、漢字ひらがな混じりの続け字で、寺子屋を通じ、歴史上最も普及した筆字。歌舞伎や寄席文字などの源流。 ³ 額を含むサイズ。作品自体は70cmが最小。一般家庭で飾るのはやや困難ですね。 ⁴ 個人審査員は別途検討。

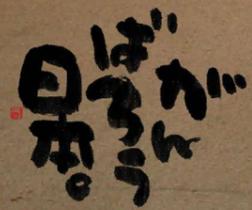
わよう
和様の書展
 Wayoh Japanese calligraphy exhibition



企業・団体様向け
審査員募集のおしらせ

うどよし書道教室 Udo-yoshi Japanese calligraphy class

2010年4月 和様専門「うどよし書道教室」設立(根津教室)。
 2011年3月 東日本大震災の支援ロゴ『がんばろう日本。』を発表。
 2012年9月 第1回 書展開催(千代田区九段下)、以降、毎年1回 開催。
 2015年7月 湯島教室に移転。
 和様普及のため、外国人体験(過去最大100名)や和様のワークショップなども実施。



〒113-0034 東京都文京区湯島 2-14-12 2-14-12 Yushi na, Bunkyo -ku, Tokyo
 phone 03-3834-0639 e-mail udo-yoshi@gmail.com
 web site http://udoyoshi.com
 class web site http://wayoh.jp

和様 うどよし書道教室
 WAYOH Japanese calligraphy class produced by UDOYOSHI
 JAPANESE CALLIGRAPHY TOKYO